

「今後の方向性」に基づく取組内容の記載について

本書の「平成 27 年度事務事業評価表（重点評価）」における「過年度の実績状況の評価と今後の方向性」欄は、平成 27 年 9 月頃に、『『今後の方向性』に基づく取組内容』欄は、予算編成等の結果を踏まえ、年度末に記載したものです。

平成27年度事務事業評価表（重点評価）

事務事業名	ぜん息教室	担当部	健康部
		担当課	地域保健課

過年度の実績状況の評価と今後の方向性

実績状況の評価	<p>専門医・理学療法士等が、講義や事例などを通して、公害により健康被害を受けた被認定者及びその家族に対し、公害健康被害にかかわる指定疾病に関する知識普及と療養上の指導を行うことにより、健康の回復、保持、増進を図る。</p>		
	改善	<p>専門医の講演を通して、ぜん息について正しく学び、生活療養上の注意及び自己管理法などの医学的知識の普及と指導を行う。内容を講義型のほかに、体を動かす体験型を取り入れるなど、各年齢層に親しみやすい講演スタイルとする。事前質問を受け付けし、また講義終了後の質疑応答の時間を一層充実したものにする。ぜん息教室（ぜん息児の</p>	

予算編成等の結果を踏まえ、年度末に記載した箇所です。

「今後の方向性」に基づく取組内容

1 今後の成果指標の目標値

成果指標	指標の根拠・計算式など	単位	区分	27年度	28年度	29年度
参加者が役に立つ内容と答えた率(役に立つ内容と答えた数/アンケート回収数)	アンケート	%	目標	85	86	88
—	—	—	目標	—	—	—

2 今後の活動目標及び活動指標の目標値

活動目標	視点	活動指標	単位	区分	27年度	28年度	29年度
ぜん息に関する知識を習得する講演を実施し、参加者の拡大を図る	参加者数	参加者数	人	目標	190	195	200
講義と実技を兼ねた教室の開催を図る	開催日数	開催日数	回	目標	4	4	4
—	—	—	—	目標	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—

※「葛飾区基本計画」における施策の目標値は、平成 27、30、34 年度で設定しています。したがって、「葛飾区基本計画」の施策に関連する指標及びその目標値を設定している事務事業は、平成 28、29 年度目標値を「—」としています。